みなみちた学校づくり通信

Vol.04

2026年（令和8年）9月
南知多町企画財政課・教育課

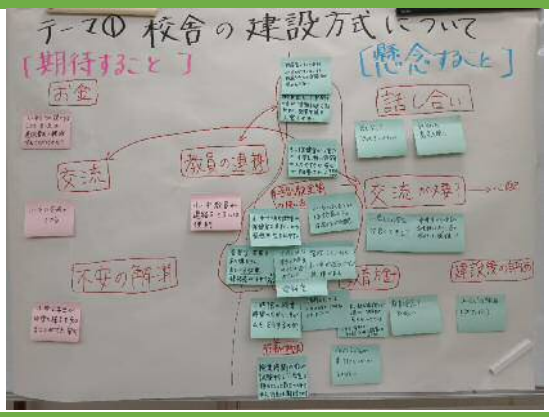
この通信では、学校づくりの最新情報をわかりやすくお伝えしていきます。
新校舎建設に向けて、「みんなで考える　新しい学校づくり」ワークショップを開催しました。
半島、日間賀島、篠島の3カ所で開催し、①新校舎の建設方式について、②学校施設の地域開放について、グループワークが行われました。

ワークショップテーマ　①小学校・中学校を「同一棟」とする場合に期待・懸念すること
②学校施設が地域に開放されたら、どのように利用したいですか

令和８年８月２５日（月）午後７時　役場大会議室 ＜参加者：４名＞

当日の様子（役場大会議室）

職員室や保健室を1室にした場合の小中学生の利用、体格差による施設設備のサイズ問題など、特別教室の使い方について多くの意見が出た。
また、学校施設をこれまでの体育館のように町民が利用できるのか、地域開放の仕組みづくりが課題となる話し合いとなった。



令和８年９月８日（火）午後７時　日間賀島公民館 ＜参加者：１１名＞

当日の様子（日間賀島）

チャイムの時間の違い、昇降口の使い方、小中学生の施設内動線、行事の合同開催など、日々の学校生活についての意見が出た。
また、学校施設を地域開放する場合は、島民も使いやすいような交通手段があると良いという意見もあった。

令和８年９月１０日（木）午後７時　篠島開発総合センター ＜参加者：１５名＞

当日の様子（篠島）

島の学校での独自の学びや経験、島ならではの祭りはどのように残し、向き合っていくかの意見が出た。
また、島民からは図書館、プール等の施設を利用したいという声が多くあったが、児童生徒の授業利用での安全面を優先させたい思いも意見に表れていた。

ワークショップの意見まとめ（全地区）

〇ワークショップテーマ　①小学校・中学校を「同一棟」とする場合に期待・懸念すること

期待すること（強み・メリット）	懸念すること（課題・配慮すべき点）
・小中学生の交流や異学年交流が増え、互いに学び、成長できる。 ・小中学校の教員が連携しやすくなり、継続したきめ細やかな教育につながる。 ・小学生が中学校の様子を身近に知ることで、進学への不安や「中１ギャップ」の軽減につながる。 ・特別教室やＩＣＴ整備などを小中学校で共有し、充実した教育環境を効率的に整備できる。 ・施設や設備を一体的に整備・共用することで、建設費や維持管理の負担を抑えらえる。 ・空き教室等を少人数授業やクールダウンの場など柔軟に活用できる。	・小中学生の体格・年齢差を踏まえ安全で過ごしやすい施設とする必要がある。 ・特別教室や体育館、グラウンドなどの共用により、利用調整が複雑になる。 ・小中学生や一般利用者の動線が交差しないよう、生活空間や動線を適切に分ける必要がある。 ・授業時間や行事、試験など小中学校の違いを踏まえ、学校生活や施設利用を調整する必要がある。 ・小中学生の人間関係やトラブルに配慮し、交流と適切な距離を両立できる環境が必要である。 ・目指す学校の姿や教育方針を明確にし、それに合った施設構成や運営方法を検討する必要がある。

〇ワークショップテーマ　②学校施設が地域に開放されたら、どのように利用したいですか

※活用方法に加え、地域開放にあたって大切にしたい意見も掲載しています

・図書館を地域住民にも開放し、読書や学習などに利用したい。
・学習室や勉強できる場所、学童など、子どもの学びの場として活用したい。
・体育館やグラウンドを地域のスポーツ活動や地域クラブ、習い事などに利用したい。
・多目的室、会議室、料理教室など、地域活動の場として利用したい。
・地域の祭りやイベント、子どもと地域住民が一緒に行う活動の場として活用したい。
・畑や花壇、飼育などを地域と連携して行うことも考えられる。
・雨の日にも子どもが遊べる場所や、プログラミング、ＡＩ、料理など、学校外でも学べる場として活用したい。
・学校と地域利用が両立できるよう時間やルール、動線や出入口を工夫し安全に利用したい。
・地域の人が利用しやすい駐車場や、バスや船など公共交通の利便性を高めてほしい。

詳細報告書はＨＰに掲載中
←←←

＜学校新校舎整備事業ＨＰ＞
こちらも更新していきます➡

＜専用のご意見フォーム＞
にご意見をお寄せください➡

ご意見・ご質問等ございましたら、南知多町企画財政課または教育課までお問い合わせください。
〒４７０－３４９５　知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪１８番地　☎0569-65-0711